



# 株式会社メニコン

## 2020年3月期 第2四半期決算説明資料

証券コード : 7780



# I .2020年3月期第2四半期 連結業績概要



## 決算のポイント

➤ 2020年3月期第2四半期 連結業績

売上高:前年同期比 **6.8%伸長** (増収)

メルス会員数 **132万人** に増加

売上総利益:製造原価の低減による原価率の改善 (増益)

原価率: 46.5% → **45.7%**

営業利益:製造原価低減による売上総利益の増加及び、  
売上高販管費率の低下 (増益)

営業利益率: 7.3% → **10.6%**

## 2020年3月期 第2四半期連結業績サマリー

	2019/3期 第2四半期	2020/3期		百万円
		第2四半期	前年同期比伸長率	
売上高	40,097	42,824	+6.8%	
売上原価	18,638	19,560	+4.9%	
(原価率)	46.5%	45.7%	(△0.8pt)	
売上総利益	21,459	23,264	+8.4%	
販売費及び一般管理費	18,537	18,705	+0.9%	
(売上高販管费率)	46.2%	43.7%	(△2.5pt)	
営業利益	2,921	4,558	+56.0%	
(売上高営業利益率)	7.3%	10.6%	(+3.3pt)	
経常利益	2,898	4,564	+57.5%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,810	2,992	+65.3%	
1株当たり四半期純利益(円)	51.46円	<b>84.47円</b>	---	

# 連結売上高

428億円

前年同期比 +27億円  
(+6.8%)

①メルスプラン売上  
+12億円

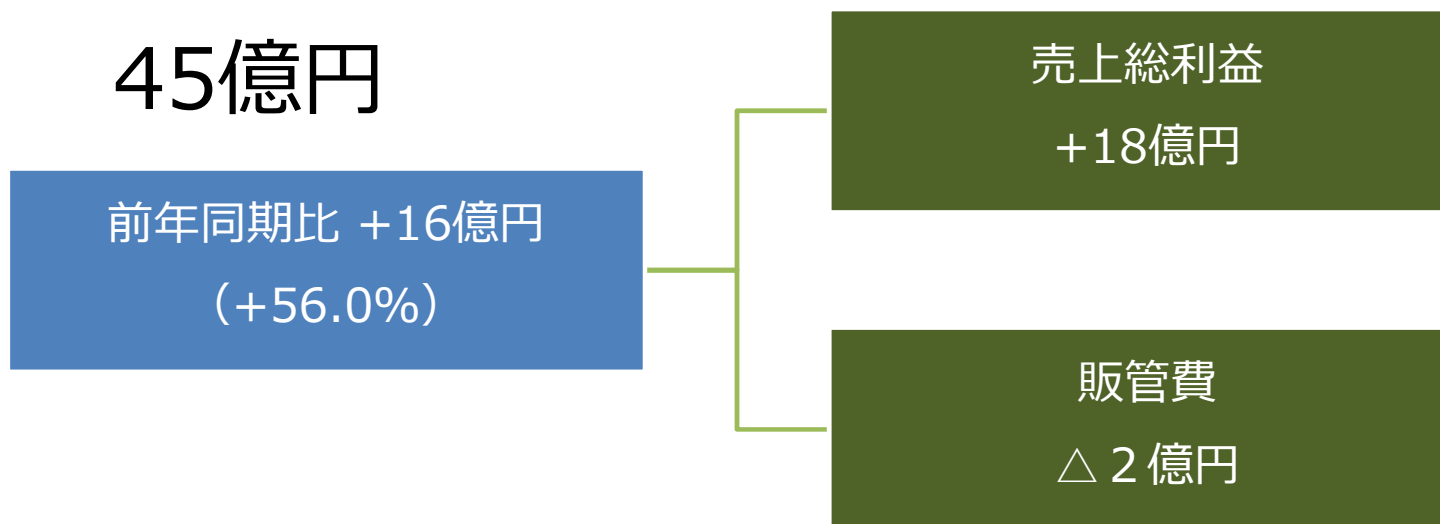
②コンタクトレンズ・  
ケア商品売上  
+14億円

その他  
+1億円

## 主な理由

- ①メルスプラン会員数の増加 (前年同期比+3%)  
1 DAY会員の増加
- ②1 DAYレンズ及びオルソケラトロジーレンズの拡販/  
消費増税前の需要

## 連結営業利益



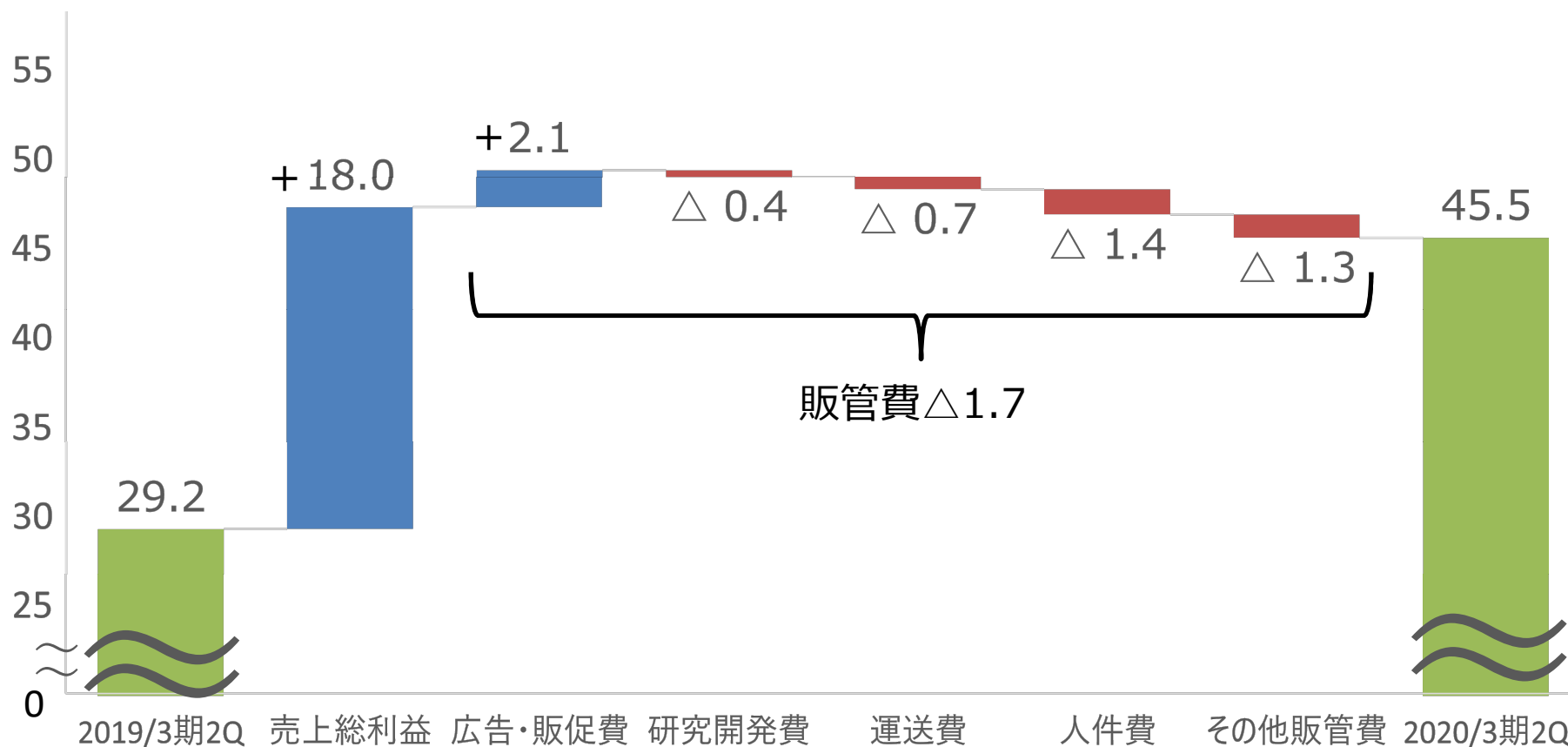
### 主な理由

売上高増加と製造原価の低減による売上総利益の増加  
売上高販管費率の低下

# 連結営業利益分析

✓ 売上総利益の増加と販管費使用抑制

億円



## 売上高の内訳①

### 報告セグメント別 等

百万円

		2019/3期	2020/3期	
		第2四半期	第2四半期	前年同期比
連 結 売 上 高		40,097	42,824	+6.8%
報 告 セグメント別	コンタクトレンズ 関 連 事 業	39,387	41,990	+6.6%
	そ の 他	709	833	+17.5%
製 品 及 び サービス別	コンタクトレンズ ・ ケ ア 商 品	19,055	20,482	+7.5%
	メルスプラン	20,045	21,250	+6.0%
	そ の 他	996	1,091	+9.5%

※「その他」に新規事業を含んでいます。



製品及びサービス別 **コンタクトレンズ・ケア商品**

204億円

前年同期比 +14億円  
(+7.5%)

①1DAY  
+ 4 億円

② 2 WEEK ・ 1 MONTH  
+ 4 億円

③その他  
+ 6 億円

理由

- ①国内・海外ともに1 DAYが堅調
- ②日本での2 WEEK、欧米での1 MONTHレンズが伸長
- ③主に中国でのオルソケラトロジーレンズ及びケア用品が伸長

## 212億円

前年同期比 +12億円  
(+6.0%)

① 1 DAY  
+10億円

② 2 WEEK  
+ 2 億円

理由

- ① 1 DAYが堅調
- ② 2 WEEKメニコンプレミオシリーズが堅調

## 売上高の内訳②

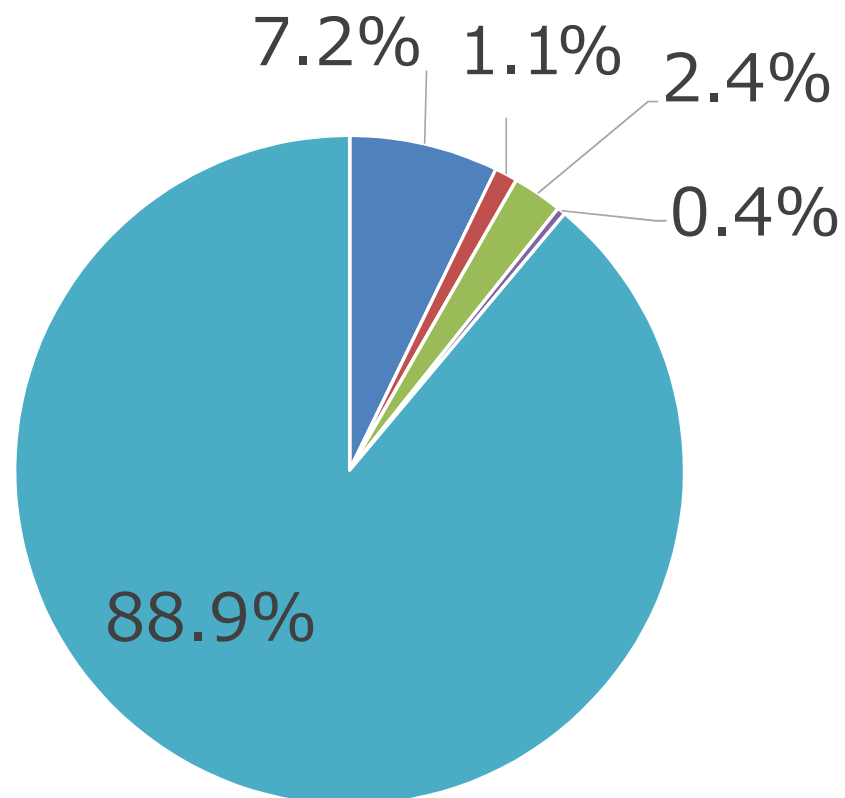
### 地域別

百万円

	2019/3期 第2四半期	2020/3期	
		第2四半期	前年同期比
連結売上高	40,097	42,824	+6.8%
国内売上高	35,528	38,086	+7.2%
海外売上高	4,569	4,737	+3.7%
欧州	3,119	3,074	△1.4%
北米	487	484	△0.8%
アジア	813	1,027	+26.3%
その他	149	152	+2.0%

※「その他」にオセアニア等を含んでいます。

## 海外売上高比率



海外売上高比率  
**11.1%**

■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア ■ その他 ■ 国内売上高

# 海外売上高

47億円

前年同期比 +1.6億円  
(+3.7%)

①欧州

△0.4億円 (△1.4%)

②北米

△0億円 (△0.8%)

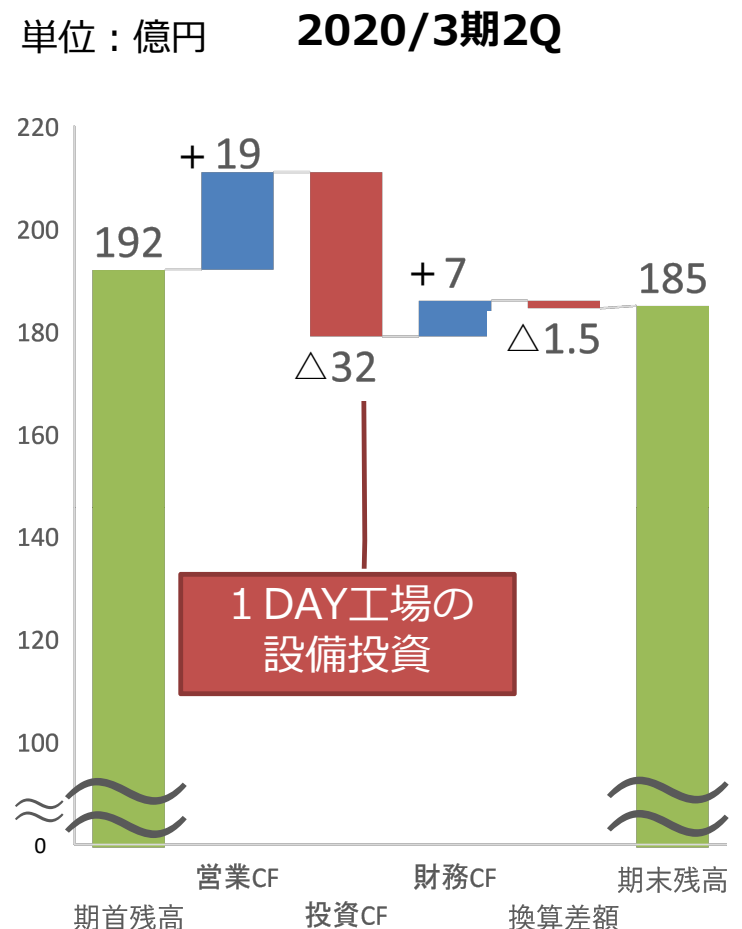
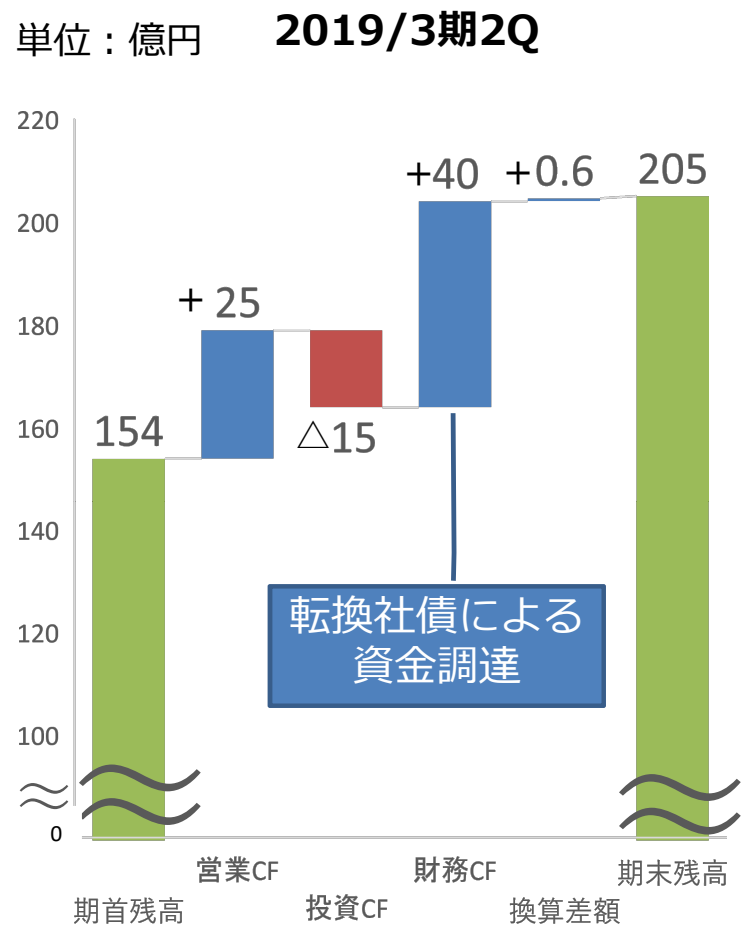
③アジア

+2.1億円 (+26.3%)

理由

- ①②円高の影響 (現地通貨ベースでは伸長)
- ③オルソケラトロジーレンズが堅調

# 連結キャッシュフロー比較



## Ⅱ.2020年3月期通期 連結業績予想



## 連結業績予想修正のポイント

- 2020年3月期通期 連結業績予想  
→**連結業績予想を上方修正**

売上高:前期比5.2%伸長を計画→修正なし

営業利益:下半期に1 DAYの販売拡大や、  
新製品を含むメルスプラン会員数増加に向けた  
販促強化のための費用の使用を予定している一方、  
製造原価低減が引き続き見込めるため、  
当初予想を上回る見込み  
→**上方修正**



## 連結業績修正予想

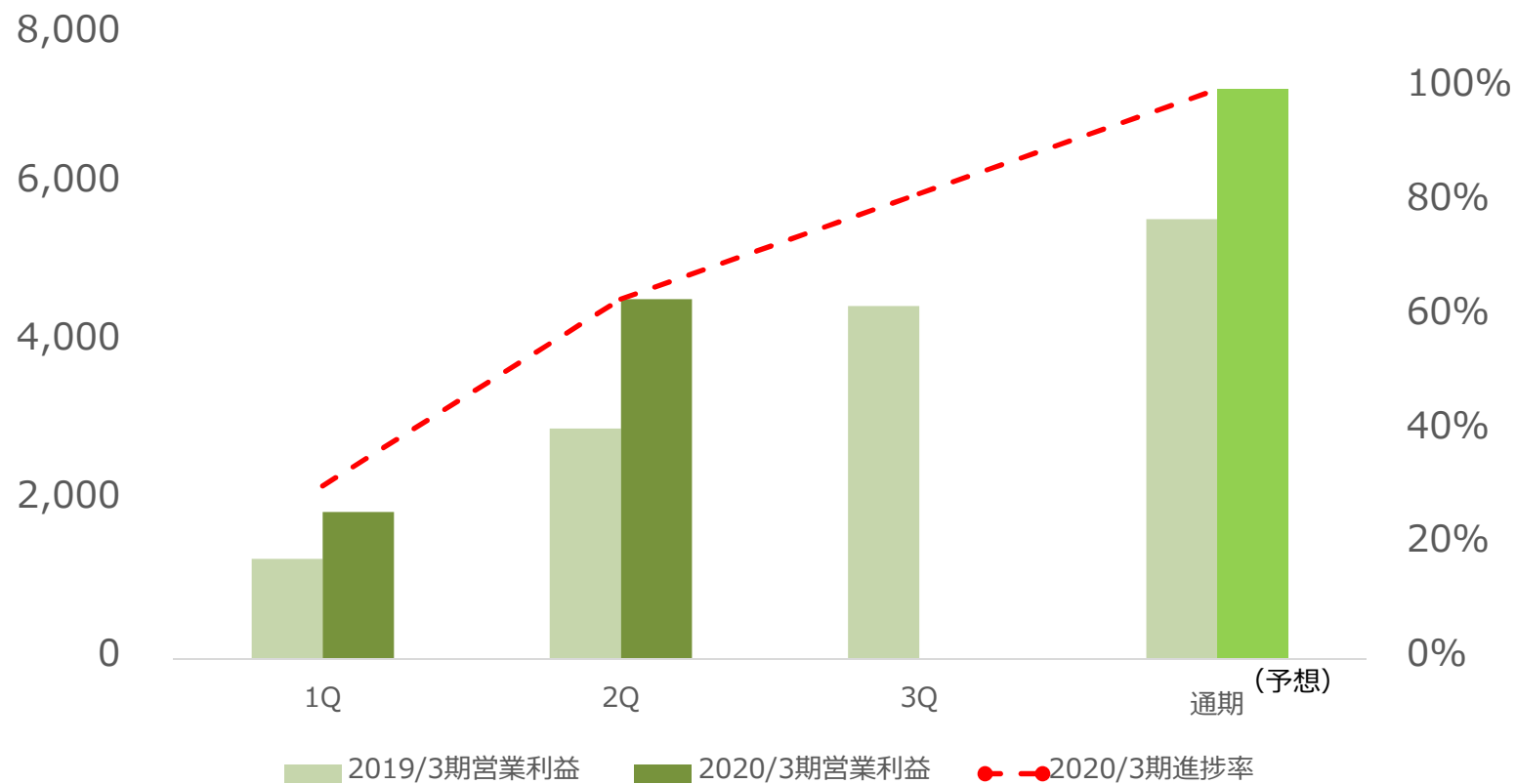
	2020/3期 期初予想		2020/3期 修正予想	差異	増減率	百万円
売上高	85,083		85,083	---	---	
売上原価	39,883		38,997	△885	△2.2%	
(原価率)	46.9%		45.8%	(△1.1pt)	---	
売上総利益	45,199		46,085	+885	+2.0%	
販売費及び一般管理費	38,696	⇒	38,873	+176	+0.5%	
(売上高販管費率)	45.5%		45.7%	(+0.2pt)	---	
営業利益	6,502		7,211	+709	+10.9%	
(売上高営業利益率)	7.6%		8.5%	(+0.9pt)	---	
経常利益	6,488		7,197	+708	+10.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,091		4,500	+408	+10.0%	
1株当たり 当期純利益	116.12円		125.10円	+8.98	---	

## 連結業績進捗率

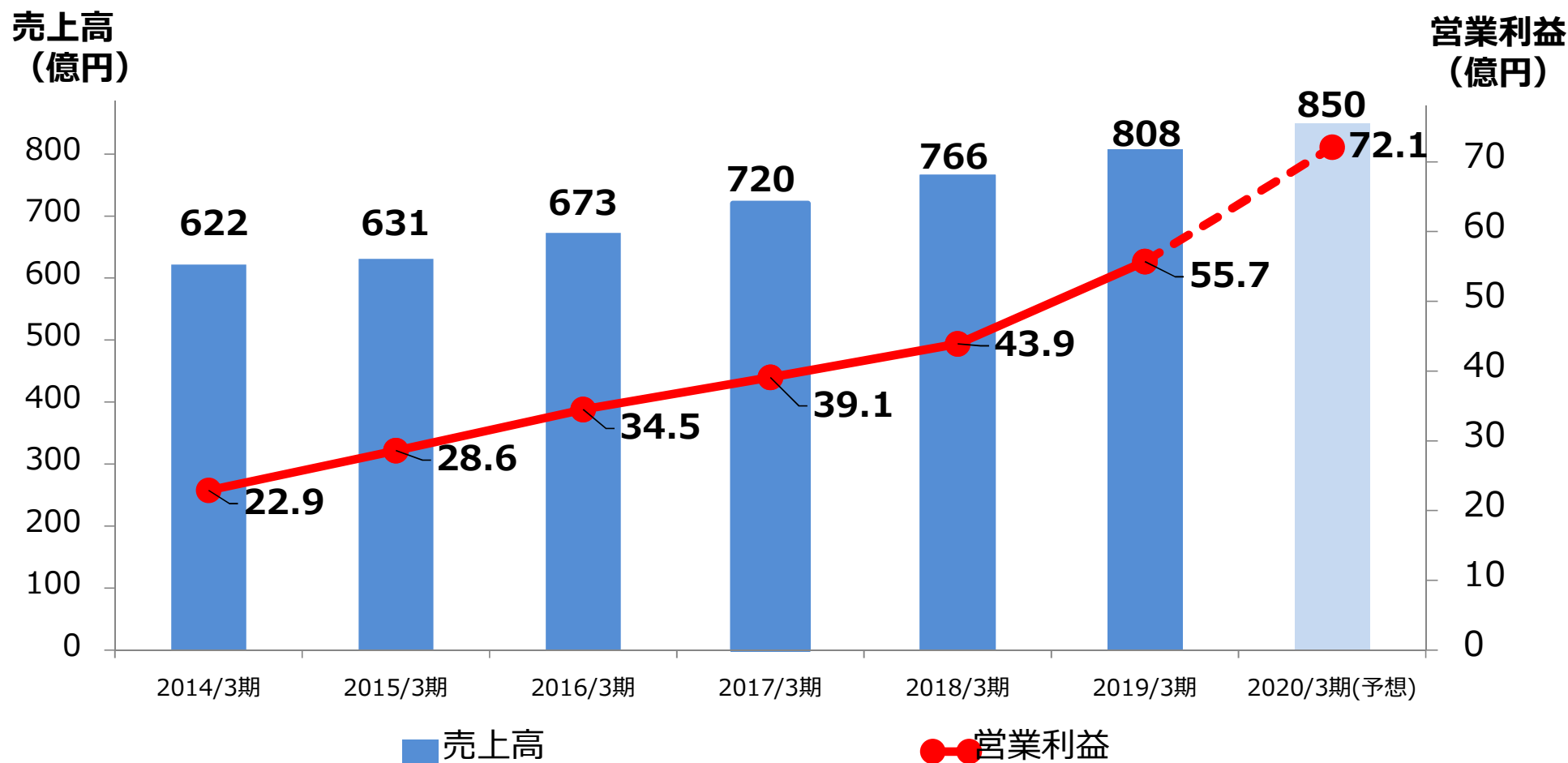
✓ 進捗率は堅調

営業利益（百万円）

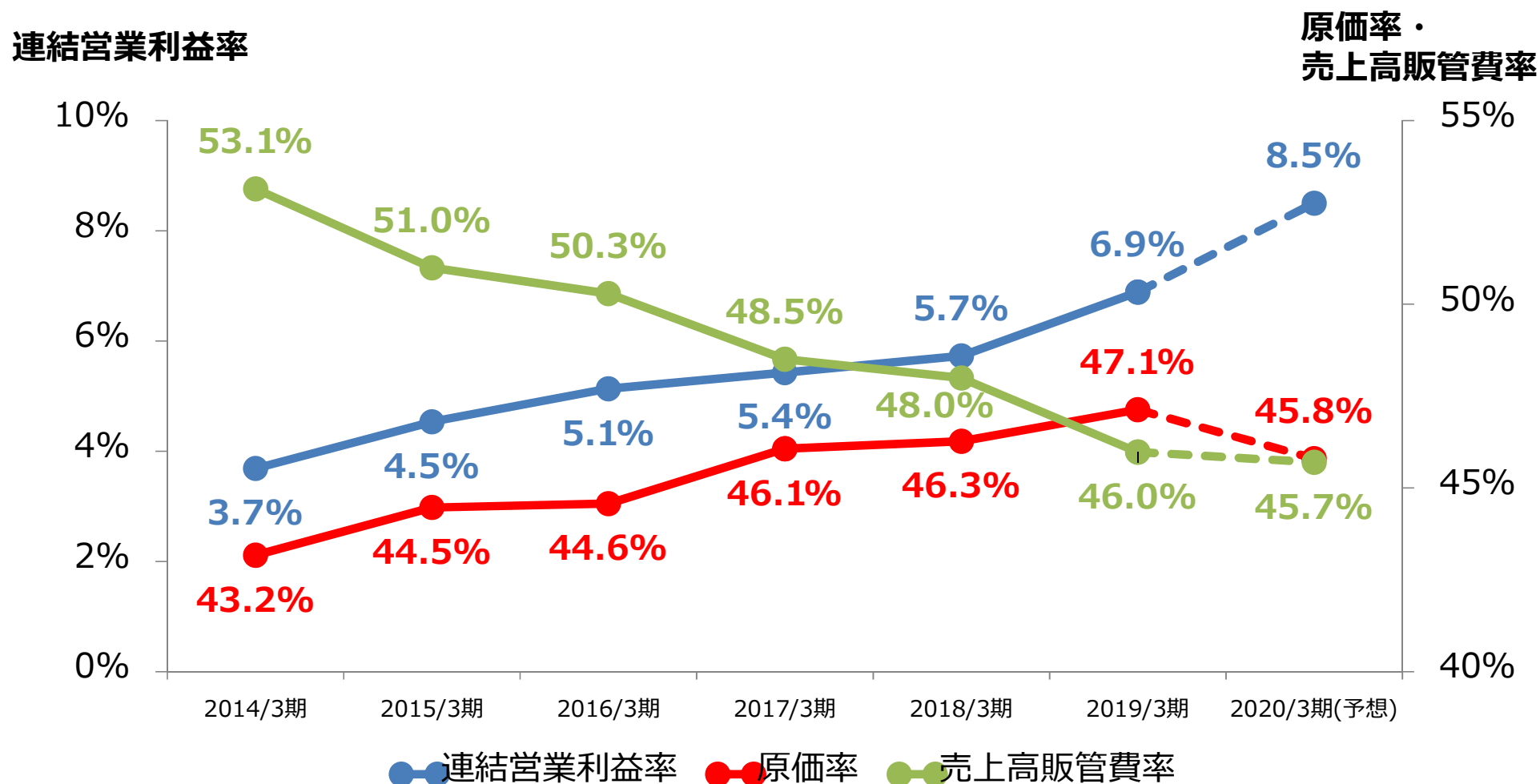
進捗率



## 連結売上高・連結営業利益推移



# 原価率・売上高販管費率・連結営業利益率推移

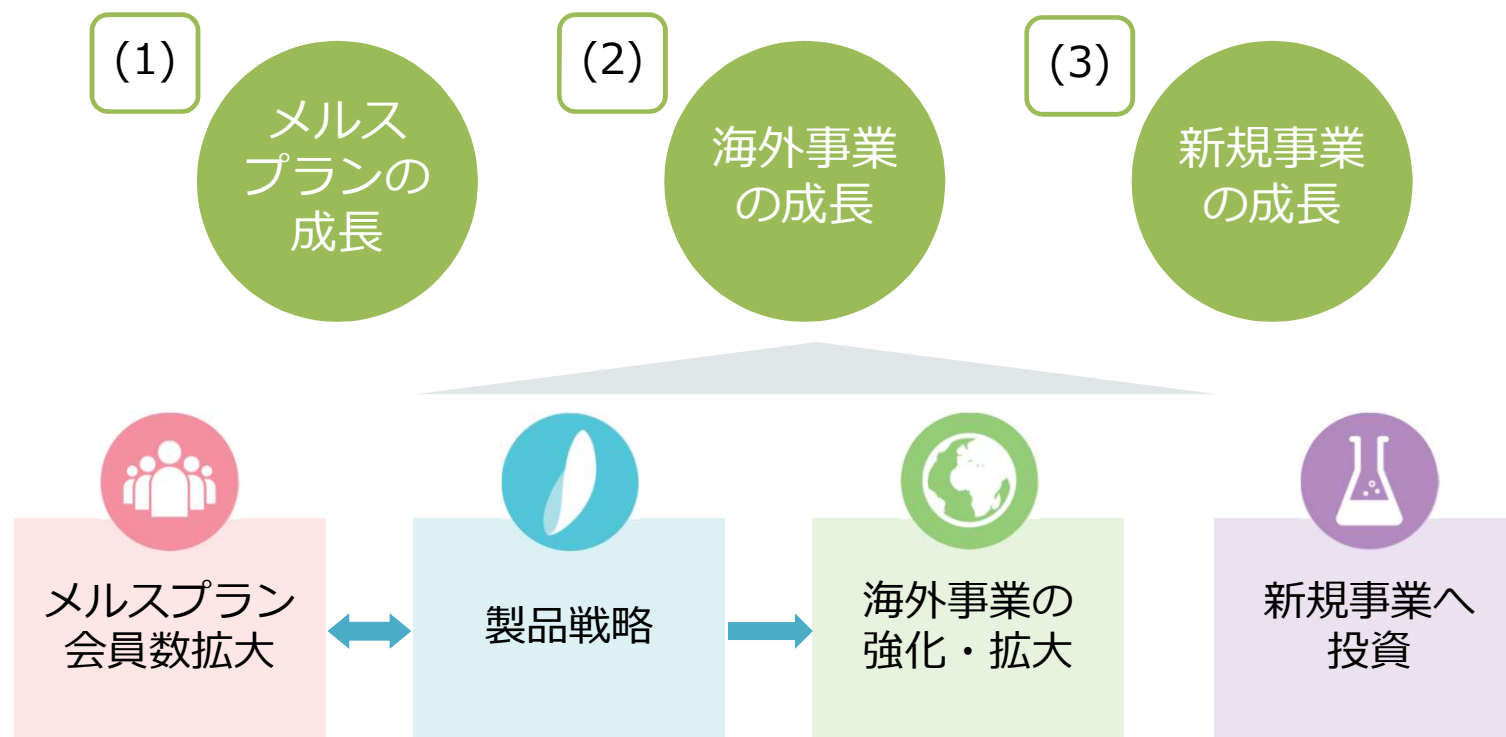


## Ⅲ.Vision2020に向けて



## 中期計画 Vision2020

### 売上高1,000億円、営業利益率10%の実現へ

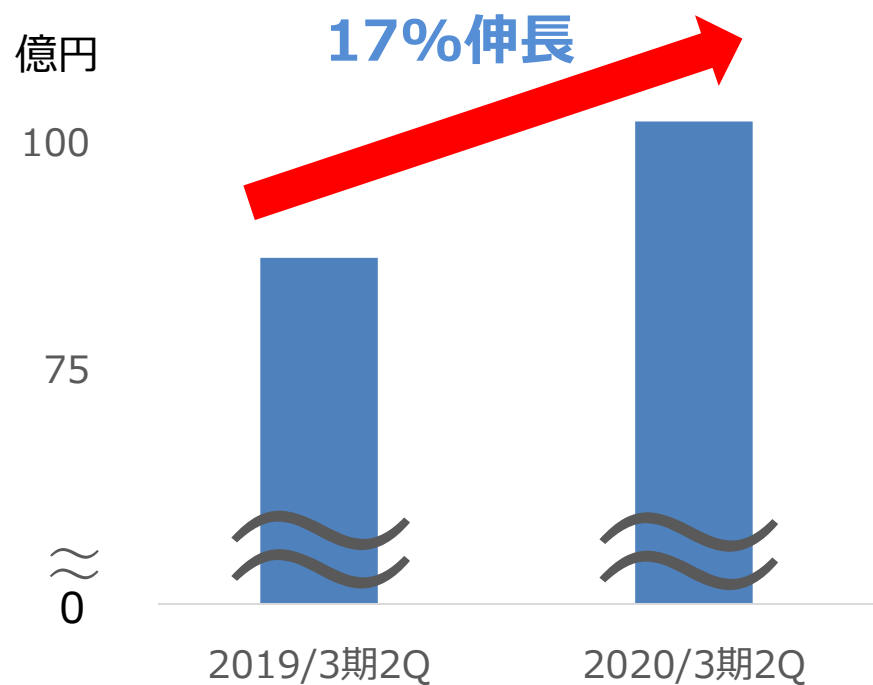


Vision2020 : 2021年3月期の達成目標

# (1) 1 DAYコンタクトレンズ

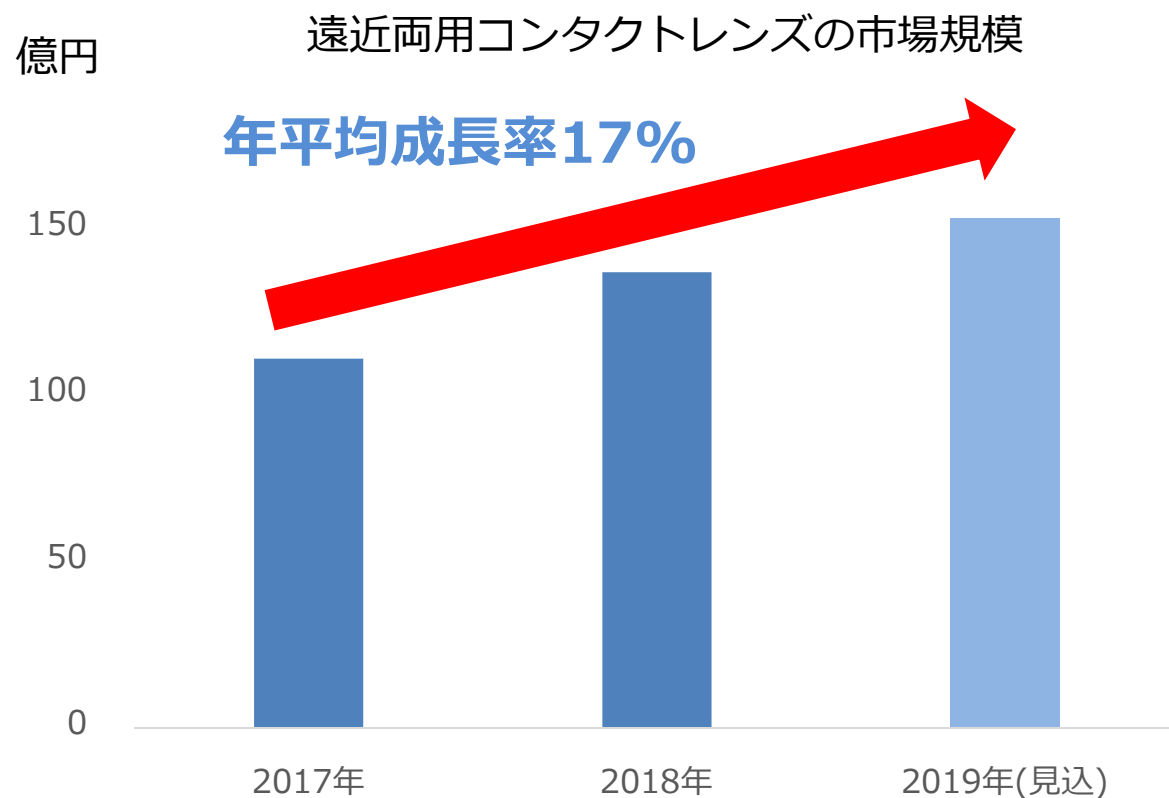
✓ 1DAY売上高の成長

1DAY売上高（メルス+物販）



# (1)定期交換型 遠近両用ハードコンタクトレンズ

✓ 遠近両用市場の更なる開拓



伸長している遠近両用市場へ  
新カテゴリーレンズ導入



3か月定期交換ハードコンタクトレンズ  
フォーシーズンバイフォーカル

出典：矢野経済研究所



## (2)海外事業 グローバルネットワーク

✓ 2019年10月よりSOLEKO（イタリア）がグループに加入



## (2)海外事業 欧州 イタリア

✓ イタリア:欧州第2のディスポーザブルコンタクトレンズ市場開拓



Miru 1 DAY



Miru 1 Month

### メニコン

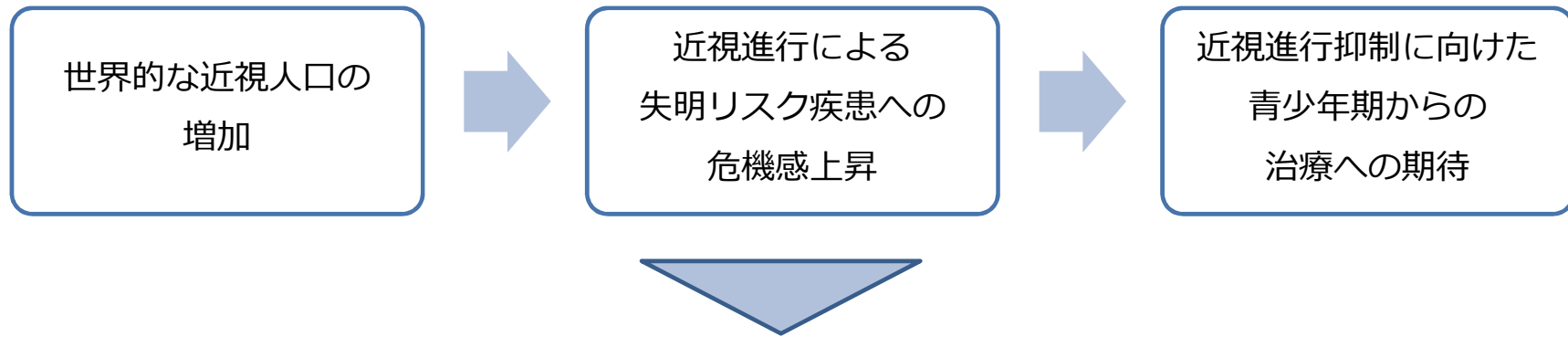
- 充実した製品ラインアップのディスポーザブルコンタクトレンズ

### SOLEKO

- イタリア市場で**販路・認知度**を保有
- ケア用品→メニコングループで販売

**相互の長所を生かした強カタッグ**

## (2) 近視進行抑制研究への取り組み



コンタクトレンズを活用した近視進行抑制研究を推進

学術的な信頼の獲得

- ・ CEマーク取得
- ・ 研究への取り組み

高品質・高性能なマルチ焦点レンズの供給

- ・ 中国におけるシェア拡大
- ・ アジア地域の販売地域拡大

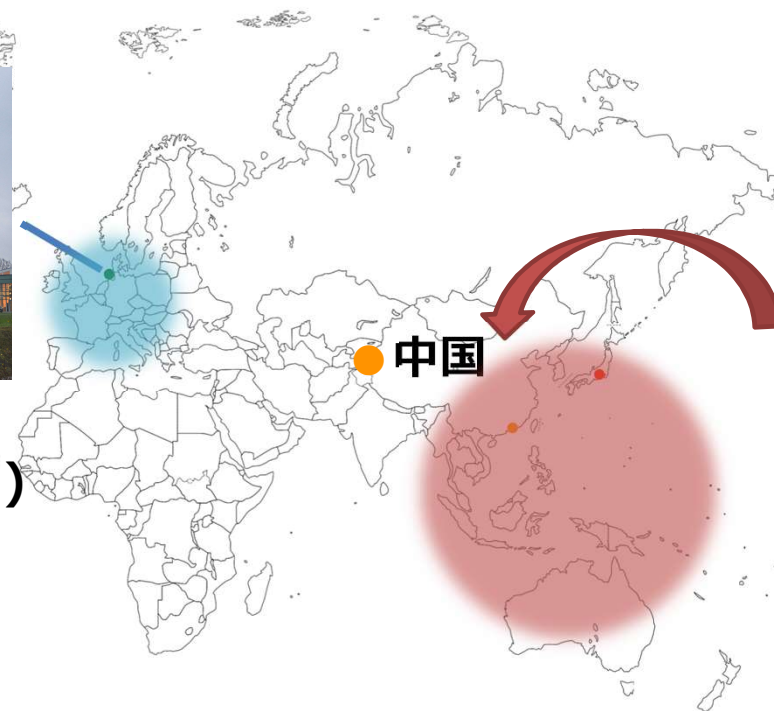
## (2) 近視進行抑制研究への取り組み

✓ 日本・オランダに拠点をもち、特色を生かして事業展開



● オランダ  
(NKL Contactlenzen B.V.)

欧州を中心に展開



● 中国



● 日本  
(アルファコーポレーション)

中国を中心に  
アジア地域へ拡大

## (2) 近視進行抑制研究への取り組み

- ✓ 近視進行抑制システム「メニコンBLOOMシリーズ」

レンズカテゴリー	商品名
オルソケラトロジーレンズ	Menicon Bloom Night
ワンデーコンタクトレンズ	Menicon Bloom Day

近視進行抑制事業のブランド名、「BLOOM」  
欧州の主要市場にて2020年より本格導入へ

## (3)新規事業

✓ より高性能な新商品、新サービスをリリース

「めにサプリ ビルベリー」  
8月:機能性表示食品発売



メニワン「Fundus AI」  
9月:獣医師向け犬の眼科診療サポート開始



# 免責事項および将来見通しに関する注意事項

## 免責事項

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくため、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2019年11月12日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問合せ先

株式会社メニコン 財務 & IR 部

E-mail : [menicon-ir@menicon.co.jp](mailto:menicon-ir@menicon.co.jp)

[www.menicon.co.jp/company/ir](http://www.menicon.co.jp/company/ir)